

式 辞

今年の冬は寒い日が続きました。しかし、三月になつてからは気温も上がり、柔らかな春の息吹が校舎や校庭に満ちあふれています。

本日このよき日に、第六十一回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、わたくしたち教職員にとりましても大きな喜びです。本日は、新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の皆様のご臨席を、各ご家庭一名とさせていただきます。高い席からではございますが、ご臨席の保護者の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました二百九十名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

残念ながら、今年度も新型コロナウイルス感染症の話題が尽きることはありませんでした。昨年度中

止となった夏の中総体は、参加者や応援の人数を制限した形ではありましたが、今年度は、なんとか開催することができました。そして、多くの部活動で練習の成果を発揮してひたむきに頑張る姿を見ることができました。また、その後に開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、様々な種目で躍動する選手の姿を見て、感動した人も多かったと思います。しかし、オリンピック・パラリンピックが閉幕した後は、再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、愛知県にも緊急事態宣言が出され、二期の学習活動や行事にも大きな影響が出ました。特に皆さんが楽しみにしていた修学旅行は再延期となり、期間を一泊二日に縮小しての実施となりました。また、体育大会や文化発表会も形を変えての実施となりました。しかし、どの行事においても、できなことを悲しむのではなく、できることに精一杯取り組み、それぞれの行事が有意義なものになる

よう全力で取り組む皆さんの姿が見られました。

修学旅行の見学地で、とびきりの笑顔で友達と楽しそうに過ごす姿、体育大会の大縄跳びで、大きな声で数を数えながら必死に頑張る姿、あまり練習がでしなかつたにもかかわらず、マスクの下から精一杯の歌声を響かせ、クラスのハーモニーを歌い上げる姿、これらの姿から皆さんが「自分で考え、判断して、正しい行動をとること」「仲間と協力し、助け合って生活すること」「ピンチをチャンスにと前向きに捉え、困難を乗り越えること」のできる自立した大人へと成長してくれたことを実感しました。

私は、皆さんが三年生になった四月にこの旭中学校に赴任しました。久しぶりの中学校ということもあり、正直、どんな生徒たちがいるのか不安を感じていました。しかし、その不安を吹き飛ばしてくれたのは、旭中学校の生徒たちの挨拶でした。朝、校門の前に立って挨拶をすると、どの生徒たちもマス

ク越しではありますが、相手の目を見て、心を込めて挨拶をしてくれます。その挨拶で心が通じ合い、お互いが清々しい気分になりました。そんな挨拶が普通にできる旭中学校の生徒は本当に素晴らしいです。そして、この相手の気持ちを考えて行動できることこそが、今の世の中には大切なことであり、旭中学校のよき伝統であると思います。皆さんは、この旭中学校の伝統と校風をしっかり引き継ぎ、そして、新たな一ページを書き加えてくれました。皆さんが残したその実績は、在校生がよき伝統として受け継ぎ、目標としながら発展させてくれることと思います。

スマップが歌って大ヒットした「世界に一つだけの花」の歌詞に、こんな言葉があります。人は、一人一人違う種を持つ。小さい花や大きな花、一つとして同じものはないから、その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい。ナンバーワンにならない

くてもいい、人は、もともと特別なオンリーワンの
のだから。

人にはそれぞれ一人一人に個性があります。これ
からは、自分が持っている個性を伸ばすための努力
を重ね、「個性」という種を育て、「夢」という世
界に一つだけの花を咲かせてほしいと思います。

旭中学校の教育目標は「凡事徹底　そして自律・
貢献へ」です。中学校生活は、様々なことに挑戦し、
数多くの壁を乗り越えていきながら、将来、しっか
りとした社会人になるための準備をする期間です。
皆さんの中学校生活はどうだったでしょうか。皆さ
んは、これからいろいろなこと挑戦し、数多くの
壁を乗り越えていかなくってはなりません。きつと上
手くいかずに悩んだり、立ち止まったりすることも
あるでしょう。しかし、そんな時こそ、どんなに失
敗してもあきらめず、地道に努力を続けることが大
切です。ほんの小さな一歩でも、毎日少しずつ努力

を続ければ、きっと夢は実現できるはずです。

旭中学校は、今までも、そしてこれからもずっと、皆さんのことを応援し続けます。そして、悲しいことやつらいことがあって、くじけてしまいそうになったら、旭中学校の教育目標「凡事徹底」を思い出してください。きっと勇気がわいて、また前進できるはずです。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大が続いた激動の中学校生活になりましたが、今ここに、立派に成長して、中学校を巣立とうとしているお子様の姿に、感慨もひとしおであると思います。

本日をもって九年間の義務教育が終了します。義務教育の間は、「手を放しても目を離すな」と言われます。手を貸しすぎても独り立ちできませんし、目が離れてしまうと、子どもは迷路に迷いこんでしまいます。しかし、義務教育の九年間で子どもたち

は多くのことを経験し、学び、考え成長しました。
今後は、将来の夢に向けて努力する子どもたちを陰
ながら応援し、支えてあげてください。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時がきました。
新しい環境の中で、新しい仲間の中で、新しい時代
に向かっていく皆さんの成長や活躍を多くの場面で
見られることを楽しみにしています。そして、皆さ
んが一層心豊かにたくましく成長することを期待し
ています。

最後に、今ここから旅立つ卒業生の限りない前途
に幸多きことを願い、式辞といたします。

令和四年三月三日

尾張旭市立旭中学校長 浅野 謙一